

# さまざまな面接と支援に家族療法を活かすには

— 個人・親子・父母面接・支援をどうすすめるか —

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2020年11月28日(土)・29日(日)

受講対象:心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、  
その他家族療法に興味のある方

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:14,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします  
東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

いま、未来を背負う子どもたちに様々な形で危機が訪れています。ということは、子どもたちの生育に直接かかわっている親や教育者たちも危機に直面していることを意味します。相談機関や医療機関では、不登校、ひきこもり、暴力、いじめ、非行などで危機を訴えている子どもたちと、育児不安、児童虐待、中高年のうつ、DV、離婚などの問題に直面している親や夫婦に接する機会が多くなりました。

今や、私たちは誰もが、一人ひとりの自律性だけでなく、親と子ども、父親と母親、子ども同士、大人同士の関係性を強め、協働して物事に取り組み、生きていくことが課題になっています。

本講座では、家族が日常生活の中で体験する個人、親子、父母、家族全員の関係性の問題と取り組みについて、家族療法が積み上げてきた知恵を紹介します。また、心理臨床職はもちろん、医師、看護師、保育士、教師、家裁調査官、ケースワーカー、法律家などの専門家が連携・協働して関係性の支援にかかわる道を探りたいと思います。

【企画講師: IPI統合的心理療法研究所 顧問 平木 典子】

## <プログラム>

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
11月28日(土)	10:00~12:30	家族関係を理解する	IPI統合的心理療法研究所 顧問 平木 典子
	12:30~13:30	昼 食 (各自おとりください)	
	13:30~16:00	個人面接に関係性の視点を活かす	駒澤大学文学部心理学科 教授 藤田 博康
	16:15~17:00	受講者と講師との対話	出講講師 平木 典子 藤田 博康
11月29日(日)	9:30~12:00	父母(夫婦)面接の考え方と進め方	明治学院大学心理学部心理学科 教授 野末 武義
	12:00~13:00	昼 食 (各自おとりください)	
	13:00~15:30	親子(母子)並行面接に関係性の理解を活かす	日本女子大学カウンセリングセンター 専任研究員 北島 歩美
	15:45~16:30	受講者と講師との対話	出講講師 野末 武義 北島 歩美

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。